

横浜市インフルエンザ流行情報 5 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

横浜市内はインフルエンザが流行しています

【第 47 週(11 月 18 日~11 月 24 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **2.53** となり、流行開始の目安となる 1.00 を上回っています。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 57.7% を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は 10 校(小学校 8、中学校 2)で、患者数は 101 人です。

なお、第 47 週までの累積は、

- ✓ 市内迅速診断キットの結果は、A 型 96.6%、B 型 3.2%、A 型・B 型共に陽性 0.2%で、**A 型が多く検出**されています。
- ✓ 病原体分離・検出状況では A 型の分離数が多くなっています。

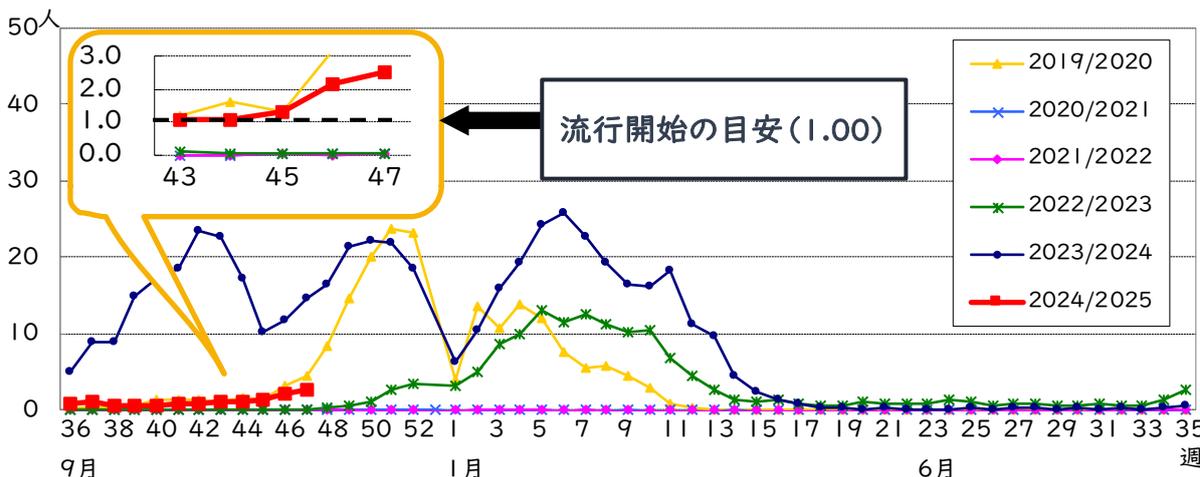
☑ ワクチン接種・咳エチケット・正しい手洗い^{※2}等、早めの準備が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況をご報告いただく医療機関(市内 153 か所)からの患者報告数の平均値です。

※2 令和 6 年度インフルエンザ Q&A(厚生労働省)に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

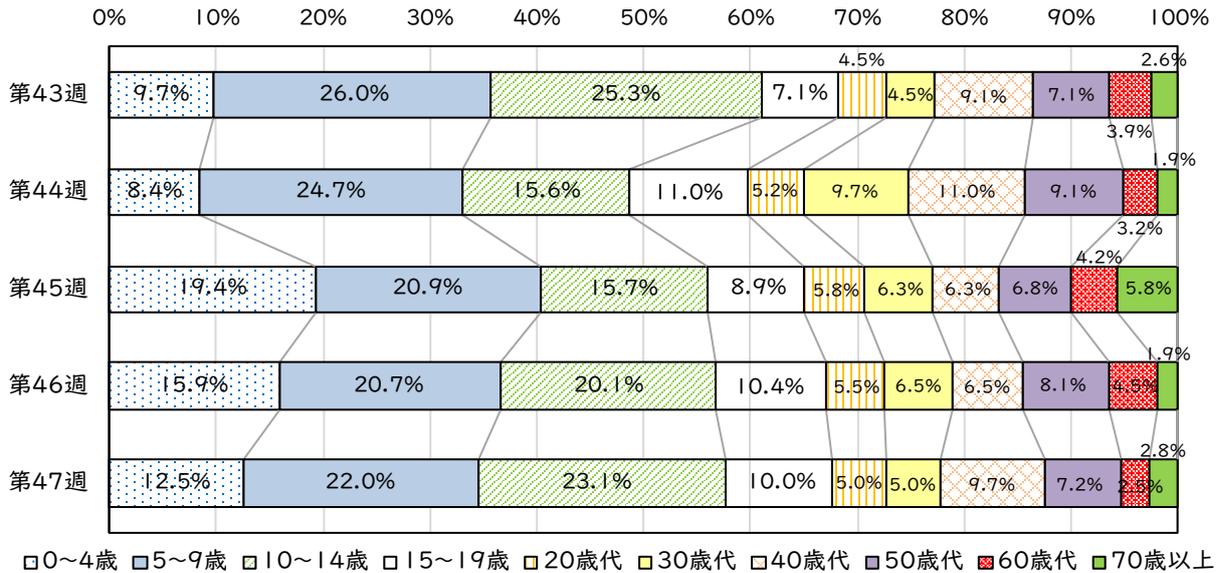
【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2024 年 8 月下旬(第 34 週 0.19)以降、緩やかな増加傾向が続き、第 43 週(10 月 21 日~10 月 27 日)に 1.07 となり、流行開始の目安となる 1.00 を上回りました。第 47 週は 2.53 です。



【年齢層別集計】

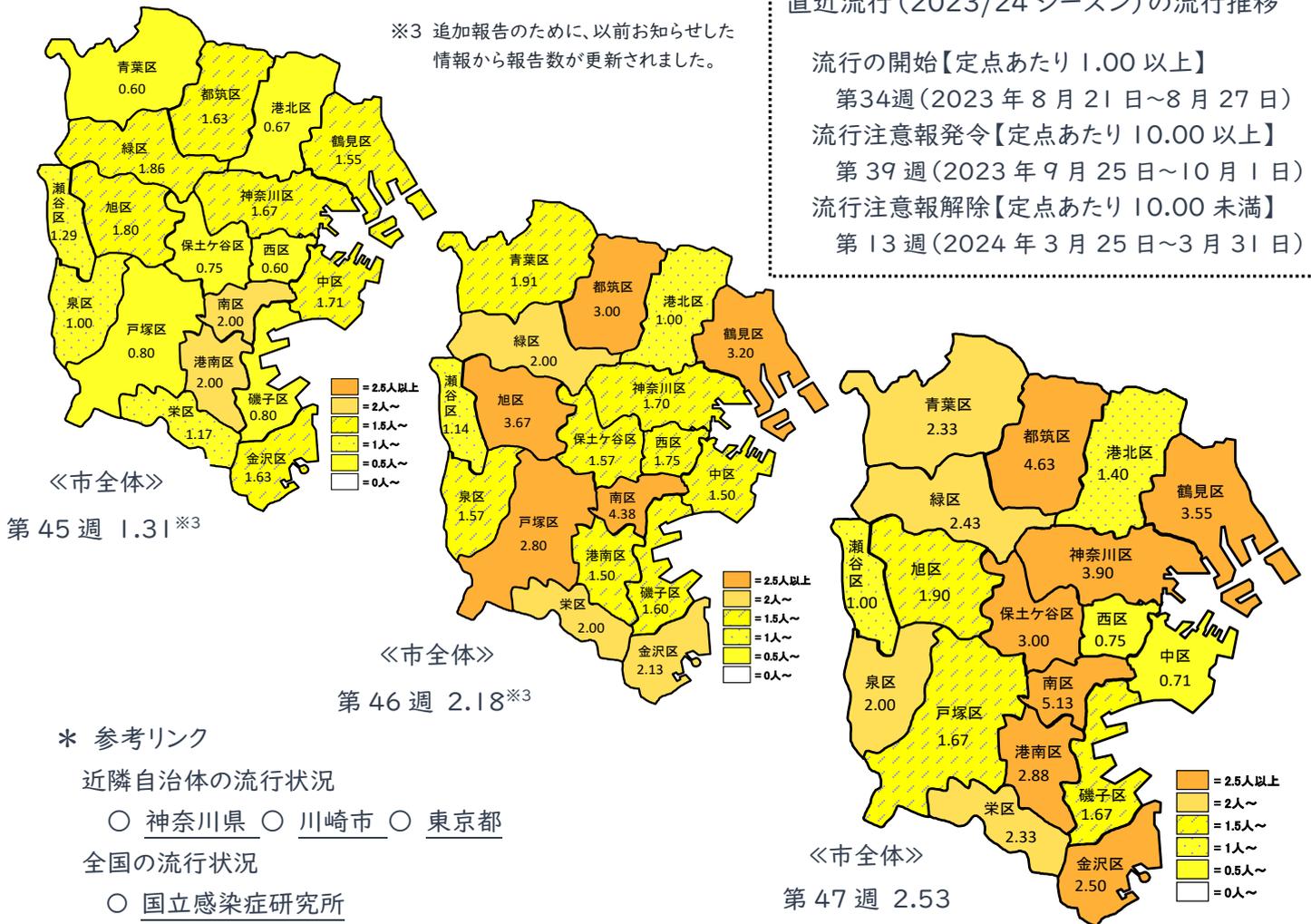
第47週の患者年齢構成は、10歳未満が34.5%、10歳から15歳未満が23.1%となっており、15歳未満が全体の57.7%を占めています。



【地図で表した直近3週間の区別流行状況】

(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

※3 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。



* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

○ [神奈川県](#) ○ [川崎市](#) ○ [東京都](#)

全国の流行状況

○ [国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237
横浜市医療局健康安全課 TEL 045(671)2463